



東一小だより

5 月 号

令和4年4月28日発行
大田区立東調布第一小学校
学校長 鳥居 洋子
<https://www.ota-school.ed.jp/higashichoufudai-es/guide/index.html>

ICTを効果的に活用するために

校長 鳥居 洋子

新緑の美しい季節となりました。入学・進級してから1か月が経ち、学校生活や新しいクラスに慣れた子供たちの笑顔が見られます。1年生も校庭で遊ぶことができるようになりました。学習を始め、様々な活動に意欲的に取り組んでいる子供たちです。

4月には全国学力学習状況調査(6年)が行われました。算数では、「プログラミング」に関する問題が初めて出題されました。「直線を引く」「左に90度回転する」などの正方形を描くプログラムを例示した後、正三角形を描く誤ったプログラムを示し、どのように見直したらよいかを考えさせる問題です。図形を描くときのプログラミングについて論理的に考える力が求められています。4年ぶりに実施された理科では、虫の観察記録をタブレット端末で表示したイラストから、昆虫の育ち方などを考えさせました。

本校では、「大田区教育ICT化推進計画」に基づいた「東一小ICT教育計画」によりICT教育を推進しています。一人1台のタブレットなどのICT機器を活用することで、授業での情報の共有や比較などを行い、子供たちの学びを深めていくのに有効です。ICTのよき使い手となるよう、情報モラル教育も計画的に実施しております。

今年度、本校は大田区のICT教育推進授業モデル実証校として、ICT教育の推進に取り組んでいきます。ICT機器を更に効果的に活用し、教員が研究したことを授業で実践し、子供たちが主体的・対話的で深い学びを実現させ、論理的思考力の育成を目指していきます。

ICT機器を学校で活用している様子なども伝えていきます。皆様のご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

子供と保護者のための教育相談(こころの輪メール相談)について大田区には、学校生活でのなやみ、生活面でのなやみに関するメールでの相談窓口(こころの輪メール相談)があります。相談をしたい場合には、

kokoronowa@city.ota.tokyo.jpまたは、

下の二次元バーコードがリンクしているメールアドレスになやんでいる内容を送信してください。

また、児童の皆さんへ1年生のときに配布している大田区公式キャラクターはねびょんキーホルダーの裏にもメールで相談できる二次元バーコードが書いてあります。小学生本人からの相談も、保護者からの相談も受け付けています。「子ども電話相談 ☎03-5748-1203」を利用することもできます。

※本窓口に相談する際は、区から貸し出されているタブレット端末ではない機器から利用してください。



運動会

運動会委員長 中谷 陽介

5月27日(金)児童鑑賞日、28日(土)保護者鑑賞日として運動会を実施いたします。

運動会では、全学年が表現運動と短距離走・かけっこに取り組めます。

表現運動では、リズムダンスや民舞、フラッグ運動などを予定しています。4月27日から運動会特別時程が始まり、練習に取り組んでいるところです。練習が始まったばかりで、まだまだ振り付けを覚えている段階ではありますが、一生懸命覚えようとしていたり、友達と教え合ったりして、子供たち同士で高め合っている姿があります。

短距離走・かけっこでは、友達と競い合い、どうしたら速く走れるか考えながら取り組みます。1・2年生は40mの直走路、3年生以上は80mのカーブがあるコースを走ります。是非応援してください。

これから気温が高くなることが予想されます。学校では、練習中や前後にこまめに水分補給をさせたり、汗をきちんと拭かせたりして進めていきます。ご家庭でも、子供たちが全力のパフォーマンスを出せるように汗拭きタオルや着替えの下着のご準備、睡眠時間の確保にご協力よろしくお願いします。

運動会についての詳しいお知らせを後日配布します。最後まで安全に配慮しつつ、子供たちにとって最高の運動会になるよう指導していきたいと思います。

5月の生活目標「心や体を鍛えよう」

生活指導委員会 シルバ 智子

5月の生活目標は、「心や体を鍛えよう」です。校歌に、「強く豊かな真心を高く高く伸ばしましょう。」「学びの道をひたすらに望みを抱いて進みましょう。」「大事な体とこの手足挫けぬように鍛えましょう。」というフレーズがあります。人間、一人一人が本来もっている真心と希望を大切にして、それを叶えるための、丈夫な身体を鍛えていくことができる子供たちに育ってほしいという願いが校歌に込められています。澄んだ瞳で大空を見上げ、清浄な光と空気を体内に取り入れて、自らを、そして友達や周りの人と共に、志を高く高く伸ばしていくことに喜びを感じることができる子供たちに成長して行ってほしいと願います。風薫る5月、校庭に桜の若葉が自然の摂理に合わせて逞しく伸びているように、子供たちもしなやかな心と体づくりに励んでいます。

1年生の子供たち

1年 学年主任 シルバ 智子

早いもので、1年生が入学して1か月が経とうとしています。

4月15日（金）には、全校行事として、「1年生を迎える会」が行われました。全校児童で「さんぽ」を歌い、高学年がゲームやクイズを出して楽しませてくれました。また、1年生一人一人に、在校生から心のこもった手作りのメダルがプレゼントされました。

1年生もお礼の気持ちを込めて、呼びかけと「学校坂道」の歌を元気よく披露することができました。落ち着いた態度で堂々と発表することができ、たくさんの方々からお褒めの言葉をいただきました。

入学したての1年生。広い学校に興味津々です。生活科の学校探検も行ってみたい場所がたくさんあるようです。学校では、1年生の子供たちが、保育園や幼稚園などでの学びをもとに、主体的に自己を発揮して、新しい学校での生活を作り出していくことができるよう、幼児期と児童期をつなぐスタートカリキュラムの工夫をしながら取り組んでいます。学校での活動が、一人一人の子供の自信につながり、笑顔がいっぱいになるように、育んでいきたいと思ひます。

2年生だより

2年 学年主任 安田 美起

新学期がスタートしてはや1か月。子供たちは友達の輪がどんどん広がって、毎日楽しそうに過ごしています。

進級して最初の行事は入学式でしたが、コロナ禍での歓迎アトラクションは録画映像を贈る参加となりました。録画映像でしたが、1年生に歓迎の気持ちを伝えようと歌や演奏、呼びかけの言葉でお祝いの思いが画面から伝わっていました。観ていた1年生の笑顔も見られ、年度のスタートからお兄さんお姉さんとして活躍することができて良かったです。さらに、生活科の学習で1年生に「朝顔の種のプレゼント」を贈ることなどで、2年生としての自覚がどんどん育ってきています。野菜の世話も熱心に行います。自分の苗が生長していくのがとても嬉しいようで、発見したことは目を輝かせて伝えに来ます。

5月には、他にも消防写生会、多摩川台公園遠足など盛りだくさんの行事があります。普段とは違ういろいろな活動を通して、地域の消防に関心をもったり、仲間と協力することの素晴らしさを体験したりしてほしいです。

ゴールデンウィークが明けると運動会も控えています。ここからまた、友達と協力して様々な場面で大いに活躍してくれることを願っています。

日	曜	内容
1	日	
2	月	放送朝会 消防写生会(1・2年) 尿検査一次1回目
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	読書活動 縦割り班活動事前(6年) 縦割り班活動(2・3・5年) 尿検査一次2回目
7	土	
8	日	
9	月	放送朝会 委員会活動 視力(3年)
10	火	安全指導日 視力(6年) 委員会発表①
11	水	内科(3・4年・五組)
12	木	児童集会 視力(2年) 委員会発表②
13	金	読書活動 歩行訓練(1年) 代表委員会 眼科(4～6年・五組) 視力(五組)
14	土	
15	日	
16	月	放送朝会 クラブ活動 視力(1年)
17	火	体育朝会 避難訓練 視力(4年)
18	水	4時間授業 内科(3・4年、五組)
19	木	縦割り班活動(1・4・6年) 視力(5年) 連合移動教室(五組5・6年) 児童の学力向上を図るための調査
20	金	読書活動 縦割り班活動事前(6年) 縦割り班活動(5年) 眼科(1～3年) 連合移動教室(五組5・6年) 尿検査二次1回目
21	土	
22	日	
23	月	放送朝会 早寝早起き朝ごはん クラブ活動 尿検査二次2回目
24	火	ICTタイム
25	水	
26	木	音楽朝会(1～3年)
27	金	運動会(児童鑑賞日)
28	土	運動会(保護者鑑賞日)
29	日	早寝早起き朝ごはん週間終
30	月	振替休業日
31	火	放送朝会

児童の表現力を引き出し、高める ～ICTを活用した授業作り～

研究主任 桑山 めぐみ

今年度の校内研究は、研究主題「児童の表現力を引き出し、高める～ICTを活用した授業作り～」に取り組んでいきます。いろいろな教科でタブレットを使い、教員も児童もタブレットの活用能力を上げていきます。

昨年度は、児童にタブレットを配布して少しずつ活用できるようになっていますが、個人差が大きかったと思います。児童と共に教員もタブレットの活用の幅を広げていきたいと考えています。大田区のICT教育推進授業モデル実証校にも選ばれたので、ICTを効果的に活用します。

今年度は8学級においての研究授業を予定しています。タブレットを活用してコミュニケーションを図ることが楽しいと感じられるよう、教職員一同研究に取り組んでいきます。週末に児童がタブレットを持ち帰ったとき、どんなことをしているのか、時々でも良いので覗いてみてください。